

「住宅リフォーム補助金」制度の実施を

山田邦彦議員

議員 世界的な不況の中で、

住民の皆さんが苦しんでいます。ぜひ町として応援策を取り入れてはかがでしよう。「仕事が欲しい」という中小企業の声にこたえる

ために、全国二〇〇近い自治体で住宅リフォームへの助成制度が広がっています。

実施した自治体では、助成額の一〇倍から二〇倍をこえる経済波及効果が生まれ

ていると報道されています。町でも「住宅リフォーム補助金」制度を始めてはどうでしょうか。

公共事業も、良好な社会資本の蓄積を図るために実施し、学校などの耐震改修工事を積極的に進めているところでは、民間住宅については、建築士会などの協力をいただき、耐震診断事業や介護保険制度等による

への融資制度の充実、企業経営の下支えとして大きな役割を担っていると認識しています。

町長 経済状況が悪化し、住民生活への影響が深刻化している中で、仕事の確保につながる事業を創出する

ことは、重要であると考えています。現在の不況対策として実施している、企業

学校給食の無料化等 子育て支援の一層の充実を

山田邦彦議員

議員 憲法第二六条には、

『義務教育は、これを無償とする。』と規定しています。私は学校で、教育の一環として使うもの・行うものはすべて無料にすべきと考えています。そこで、①体育

服や図工の材料、修学旅行費等々の現在の個人負担額

②栄養の偏り等による生活

平均12万3700円程度

です。学校にかかる経費は、経済的理由で就学困難と認められる児童や生徒の保護者に対して、学校給食費や学用品費、修学旅行費、校外活動費などの全部または一部を町費で支給しています。

町長 ①学校間で若干異なるりますが、小学校で平均6万2200円、中学校で

手すりの設置、滑り止めのリフォーム工事などの補助金制度を活用し、良質な住宅の確保に努めています。

しかし、「住宅リフォーム補助金」制度は、経済対策として、一時のカンフル剤にはなっても長期的な地域経済の体質強化対策にはならないと思います。また、この制度の導入は、多額の一般財源を必要とし、自立の道を選択した町にとつて、そぐわない制度であると考えています。

問およそ6千万円の財源が必要であり、恒久的な財源確保が困難と考えます。一部の児童や生徒の保護者に対しては、給食費の全部または一部を町費で支給し助成しています。

今後、地元食材の利用を推進し、安全で安心できるおいしい給食の提供に努めていきたいと考えています。

町長 第二次総合計画に墓地需要に対応するため「ふるさと霊園」を造成し分譲する計画がありました。当時は、若干需要があったものと思われませんが、実現

最近、住民の方々からの共同墓地を分譲し、開設は出来ないものかと相談されました。墓地までは思っていたのですが、町に二十年から三十年住んでいるとやはり、人生の終わりは、墓地が必要だと心配するようになって来たと言っていました。ふるさとを離れ、当町にお世話になり永住を希望する人達が多くなつて来ているようです。共同墓地を新設して低価格で分譲してはどうでしょうか。

現在、平成二十四年度からスタートします第五次総合計画を策定中ですので、より多くの皆さんの意見を聴いて、研究していくこと必要かと考えているところ

共同墓地を新設して低価格で分譲してはどうでしょうか。

町長 第二次総合計画に墓地需要に対応するため「ふるさと霊園」を造成し分譲する計画がありました。当時は、若干需要があったものと思われませんが、実現

最近、住民の方々からの共同墓地を分譲し、開設は出来ないものかと相談されました。墓地までは思っていたのですが、町に二十年から三十年住んでいるとやはり、人生の終わりは、墓地が必要だと心配するようになって来たと言っていました。ふるさとを離れ、当町にお世話になり永住を希望する人達が多くなつて来ているようです。共同墓地を新設して低価格で分譲してはどうでしょうか。

現在、平成二十四年度からスタートします第五次総合計画を策定中ですので、より多くの皆さんの意見を聴いて、研究していくこと必要かと考えているところ

共同墓地の新設を

中里芳久議員

議員 最近、住民の方々からの共同墓地を分譲し、開設は出来ないものかと相談されました。墓地までは思っていたのですが、町に二十年から三十年住んでいるとやはり、人生の終わりは、墓地が必要だと心配するようになって来たと言っていました。ふるさとを離れ、当町にお世話になり永住を希望する人達が多くなつて来ているようです。共同墓地を新設して低価格で分譲してはどうでしょうか。

町長 第二次総合計画に墓地需要に対応するため「ふるさと霊園」を造成し分譲する計画がありました。当時は、若干需要があったものと思われませんが、実現

最近、住民の方々からの共同墓地を分譲し、開設は出来ないものかと相談されました。墓地までは思っていたのですが、町に二十年から三十年住んでいるとやはり、人生の終わりは、墓地が必要だと心配するようになって来たと言っていました。ふるさとを離れ、当町にお世話になり永住を希望する人達が多くなつて来ているようです。共同墓地を新設して低価格で分譲してはどうでしょうか。

現在、平成二十四年度からスタートします第五次総合計画を策定中ですので、より多くの皆さんの意見を聴いて、研究していくこと必要かと考えているところ

共同墓地を新設して低価格で分譲してはどうでしょうか。

町長 第二次総合計画に墓地需要に対応するため「ふるさと霊園」を造成し分譲する計画がありました。当時は、若干需要があったものと思われませんが、実現

最近、住民の方々からの共同墓地を分譲し、開設は出来ないものかと相談されました。墓地までは思っていたのですが、町に二十年から三十年住んでいるとやはり、人生の終わりは、墓地が必要だと心配するようになって来たと言っていました。ふるさとを離れ、当町にお世話になり永住を希望する人達が多くなつて来ているようです。共同墓地を新設して低価格で分譲してはどうでしょうか。

現在、平成二十四年度からスタートします第五次総合計画を策定中ですので、より多くの皆さんの意見を聴いて、研究していくこと必要かと考えているところ

共同墓地を新設して低価格で分譲してはどうでしょうか。